

質問4. 所属する学会について <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	日本研究皮膚科学会など
※	なし
※	人工知能学会
※	所属している学会はない
※	日本腎臓学会、日本補体学会、日本血栓止血学会
※	なし
※	再生医療学会組織培養学会
※	なし
※	日本薬学会
※	生物工学再生医療
※	日本化学会 日本電気泳動学会 日本プロテオーム学会
※	日本プロテオーム学会、HUPO
※	再生医療学会
※	日本結合組織学会
※	人類遺伝学会
※	再生医療、神経化学

質問5-2. シンポジウムについて <複数回答可> (テーマが偏っている)

回答者 番号	テーマが偏っている記述
※	やや偏ってはいるが、トレンドが分かりやすい

質問5-10. シンポジウムについて <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	「8. (参加者として)ハイブリッド年会での質疑に難しさを感じた」について会場では、マイクを使わず演者の先生に質問される方が稀にいらっしゃいました。そのような場合は、演者の先生のご回答から質問内容を推測するほかなく、すこし残念でした。

質問6. ワークショップについて <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	聴講したい演題が重なることが多いため、残念でした
※	「9. (参加者として)ハイブリッド年会での質疑に難しさを感じた」について同上
※	ワークショップの内容に偏りがあるように感じた。

質問7. ポスターディスカッサー制について <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	年会のホームページを見てもディスカッサーの制度がどんなものかわかりませんでした。他学会にも参加しますが、ディスカッサーはポスター発表の良さ(自由さ、気軽さ)を減じてしまうので反対です。
※	発表中ディスカッサーの姿を見かけなかった。また、友人がオンラインで発表したけど、ディスカッサーからのコンタクトはなかったということ。役割を果たしていないディスカッサーが多いのではないかな？
※	ディスカッサーを見かけなかったので、評価できない。

質問8. 一般演題(ポスター発表)全般について <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	ポスターが発表時間外、事前に見ることができるのが良かった。(他学会では、各者のブースにアクセスするまで内容を確認できず、他のアクセス者がいないと演者の話を聞いて質問しないと失礼な感じがしてしまった。よってポスター内容を見つつ興味ある発表を見つけることがやりにくかったという経験があったため)
※	多数が会場に参加しているのと、webのシステムが使いづらいのもあって、少なくとも所属研究室のオンライン発表者の発表は低調だったと聞いています。
※	オンサイト参加で、オンライン発表を見逃し、会期終了後は見られなくなってしまったので、オンラインで一定期間見られるようにするか、会場にポスター展示だけでも(質疑はオンラインで)あるとよかった。
※	オンラインのポスター発表はじっくりとポスターを読めるのはよいが、質疑はしづらい。
※	オンラインでのポスター発表に関して、検索機能があったことは非常に助かりました。前回に比べて興味のある発表に容易にリンクすることが出来ました。ポスターの書式に関して、オンラインでも発表することを踏まえ、これまでのべた貼りを想定したデザイン性に優れた形式ではなく、もう少し見やすいと良いなと感じました。

質問9. 年会会期中の各日のタイムテーブルについて(※) <複数回答可>※今年の年会では2日目に一日通してほとんどの会場で一日中英語セッションが行われるようにし、その他の日程も常にどこかの会場で英語のシンポジウムが行われるようにプログラム編成しました (その他)

回答者 番号	その他記述
※	午後一番の時間にポスターセッションのみで時間を持て余した。オーラルセッションをこの時間にして、夕方ポスター→帰宅できるようにしてもらえた方が参加しやすい。
※	せっかくのハイブリッド形式ですので、オンデマンド配信があるとなお良かったと思います。聴講したい演題の時間が重なっており、どちらかを諦めざるを得ないことがたびたびありました。
※	関心のある3つのセッションが同時時間帯に重なったことがあった。
※	同時並行が多く聴きたい発表が重なることと、また夜遅い時間の講演等で都合つきにくい時用にも、オンデマンド式に後でも視聴できると、なおありがたかったです。
※	参加者から見れば、シンポジウムとワークショップの違いがよく分からない状況になりつつあると思う。
※	良かった点オンライン参加が可能だったことで、移動が必要な時間帯にも興味のある発表を聴講できた点は昨年に続き良かったです。残念だった点ただし、午後の発表で、夕方遅い時間帯に実施されたものに関しては、家庭のこともしなければならぬ時間帯で参加することができませんでした。昨年度はオンデマンド配信もあり今年も聴講できなかったものは期待しましたが、配信が無かったので非常に残念です。

質問10. フォーラムについて <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述(参加されたフォーラムの感想を含めて)
※	フォーラムの内容は良く吟味するべきだと思う。
※	例年に比べてテーマの多様性に欠けていたと感じた。今年は「ぜひ参加したい」と思うテーマがなかった。
※	フォーラムのオンサイトでの参加は帰宅時間を考えると難しい。
※	Q9の回答と同様に、この時間帯は参加が難しいと感じました。興味深いとても残念です。最終日の市民講座だけはなんとかオンタイムで聴講できました。来年度もオンラインでの参加が可能な場合は、ぜひオンデマンド配信をお願いいたします。

質問11. 年会・学会の企画や取り組みについて、良かったと思うものにチェックしてください <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	すべて良かったです
※	昨年のようにオンデマンドで聞き逃した講演を聴講できるシステムが無いのと、オンラインでの参加が格段に不便になった。参加者の便利を考慮していない。ビジネスならば失敗の範囲。

質問12. 企業展示会・バイオテクノロジーセミナー(横浜会場・オンライン会場)について<複数回答可>
(要望・その他)

回答者 番号	要望・その他記述
※	講演要旨が見にくい。
※	オンライン会場があったことを認知していなかったので、会場でも案内しておくと思えます。
※	バイオテクノロジーセミナーのみオンラインで参加。

質問13. 年会の発表言語について(本年会では、シンポジウム:英語、ワークショップ:オーガナイザーに一任) <複数回答可> (その他)

回答者番号	その他記述
※	英語力が原因で研究の魅力を伝えきれないと思われる演題が、毎セッションのようにあり、残念に感じた。分生は国際学会でも英会話サークルでもないのだから、発表言語は、徹底的に議論できる場とすることを最優先に、スライドも含め発表者に一任してはいかがかと思う。
※	日本語圏参加者(特に初学者、専門外の人など向け)、英語圏参加者 双方がわかる形が理想ではあると思います。

質問14. 年会の視聴サイトや、各種マニュアル・ビデオ通話機能を用いたポスター発表の体験会開催といった事前の対応、当日のトラブル対応など、ハイブリッド年会のオンラインサポート体制についてお聞きします
 <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	やや重いため使いにくい時間帯があった
※	・Googleカレンダー等へのスケジュールエクスポートも良いのですが、視聴サイト上でスケジュール管理ができると、より視聴し易かったかと思います。また、各演題ページに飛ばないと、お気に入り済みか否か確認できなかったのは使いにくかったです。・Zoomを立ち上げた際に、メールアドレスの入力が必要になる場合、ならない場合があったのが不思議でした。
※	マウスオーバーで表示内容が変わる仕様が、ざっと一覧したいときに妨げになった。
※	全体的に機能は良かったものの、お気に入りに登録した発表について、お気に入り画面一覧を見た際にそれが何日の何時、何チャンネルでの発表なのかわかりにくく、聴講計画を考えるのが難しかったです。同じく、各発表をクリックした際の画面にも時間が表示されていなかったと思います。タイムテーブルで確認しました。
※	演題の検索機能を充実してほしい。
※	ポスターが見難かった。視聴サイトは使いやすかった。
※	視聴サイトは弊社のセキュリティにひっかかってしまい、少し扱いが大変だった。検索がさくさくできなかった。

質問15. 年会オンライン視聴のためのツールのうち、よかったと思うものについてお聞きます <複数回答可>(その他)

回答者番号	その他記述
※	視聴サイトから、すぐ発表の要旨閲覧には飛ばず、全体の要旨のみしか見られず、二つのサイトを確認しなくてはいけなくて、見にくかった。せめてプログラムは、視聴サイトのタイムテーブルに乗せて欲しかった。
※	プログラムや要旨の閲覧に関しては、以前のアプリ形式が使いやすかったです。
※	オンライン視聴しなかったので、評価できない。

質問16. 本年会は、長引くコロナ禍で先の見通しが難しい中、オンサイト開催に基軸を置いたハイブリッド開催の準備を余儀なくされ大きな支出が見込まれる一方、協賛企業の出展が相当数減少しました。そこで本年会では経費節約のため年会プログラム集冊子や年会アプリ、オンサイト会場で配布していたポケット判プログラムを作成しませんでした。またそれに伴い、会員の皆様にはプログラム集冊子に同封発送していた学会会報(年3回発行)の11月号も印刷版作成を見送っています。これらについてお聞きます <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	口頭発表に関しては、冊子版が無いことに問題は感じなかった。ポスター発表に関しては、視聴サイトのプログラムの一覧性・操作性に不便を感じた。
※	要旨のキーワード検索ができないのは非常に不便
※	オンラインで参加したので、プログラムは冊子ではなくても大丈夫であった。
※	会期終了後に要旨閲覧ができなくなり困っている。一定期間見られるようにするか、要旨のみ学会HPに移行するか、対策をお願いします。会報は、冊子版であれば目を通すが、PDF版などでは見なくなります。
※	オンラインツールにスケジュール管理できる機能がほしい。ポケット判プログラムが無くても良いが、pdfをもう少し分かりやすくしてほしい。

質問17. 今後の年会の開催形式についてお聞きます <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	オンラインは、移動の手間がなく、必要なところを確実に視聴できることがよかった。例年、人気の高い話題は、会場に入ることさえも難しく、視聴を諦めていたのが、オンラインになることで、確実に視聴できたのは、大変ありがたかった。
※	各形式のコストによる。
※	会場を展示場や体育館などの広いワンフロアのみとし、シンポジウムはオンライン、ワークショップはオーガナイザー任(オンサイトの場合は、高校生発表のように隣接)、ポスターは間隔をとって一堂に並べる。企業ブースの一部は注力商品の関連するテーマに近いポスターボードに点在させ、特別料金をとったり、学生の旅費補助を負担させたりする。
※	シンポジウム・ワークショップはオンラインの方が定員を気にせずに参加で来ること、また途中から会場を移動できるなどメリットが多かった。ポスターセッションについては、ほとんどオンラインは機能していなかったのでは？
※	比重はわからないがハイブリッドが良い。
※	ハイブリッドでも良いがオンラインでの開催継続を希望。

質問18. 年会をオンライン開催またはハイブリッド開催(オンサイト+オンライン)とする場合、「未発表データを前に議論したいが、発表資料を不正に複写・撮影等されることへの懸念がある」との声が聞かれます。講演の事後配信や一般演題のポスターデータ掲示についてお聞きます <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	当面、発表者として参加する予定はありません。
※	企業研究者としては、複写等されて困るデータはオンサイトでも出しませんので、この設問にはお答えできません。
※	発表数が非常に多い学会なので、参加者目線では聞き逃してしまったもの、興味ある発表が重なってしまった場合に備えて、事後配信を希望します。

質問19. その他、年会全般についてのご意見があればお書きください。分子生物学会は、今後の年会のあり方を見直す過渡期にさしかかっています。ここが良かったので続けてほしい、あるいはここを工夫すればさらに良くなるといった改善案など、厳しいご批判の形でももちろん結構ですので、率直なコメントを広くお寄せくださるようお願いいたします。

回答者 番号	意見記述
※	全体的にセッションの時間がオーバーしがちだったので、掲示板機能はありがたかった。
※	海外からの発表者が参加しやすいので、オンライン開催がよいと思います。また、オンラインの方がスライドが見やすく、発表者の声も良く聞こえました。
※	昨年の分子生物学会のオンラインとオンデマンドのサービスが素晴らしかったので、今回は不便を感じた。
※	困難な中、頑張って開催していただき感謝しています。会費がもう少し安価であれば、助かります。オンサイトのキャバを減らすことができれば、もっと安くできるのではと期待していますが、今後の動向次第かと思いますが、アイデアを出して、より良い会にして欲しいと思っています。
※	ランチョンのランチの廃棄(?)が多そうなのが気になった
※	学生(若手研究者を含む)の教育・研究、およびディスカッションを重視するのであれば、ポスター発表、小規模な口頭発表ができるような形態に移行し、シンポジウムやワークショップのような大・中規模の口頭発表は、全国および全世界からアクセスできるオンラインをメインにする(この方が多忙なシニア研究者が参加しやすい)。
※	個人的にはオンサイト開催が学会の最大の価値だと思っています。そうでなければ今はやりの単発のwebinarと同じです。ただ、分生規模の学会は決まった場所ではしか開催されず、参加希望者それぞれの事情で参加できなかった方々が参加可能になるという点で、ハイブリッドは良かったと思います。